



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
http://www.tph.gr.jp/

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

C型慢性肝炎・代償性肝硬変に対するIFN free DAA 治療について

消化器内科部長 柴田啓志

1992年、C型慢性肝炎に対して、IFN α 製剤の6ヶ月投与（肝生検必須、慢性活動性肝炎）が承認されてから、IFN baseの治療が行われてきました。特に難治といわれた1型高ウィルス量の患者様には、72週間という長期間の治療が必要でしたが、その治療効果は50%程度であり、IFNの副作用に対して治療が認容できる患者さんは限られていたのが現状でした。2011年、第I世代のプロテアーゼ阻害剤であるテラプレビルが承認され、Peg IFNとリバビリンと併用し、24週の治療期間で、80%を超える治療効果が期待できるようになりましたが、やはりIFNとの併用が必要で、治療対象も限定されていました。2014年9月に、初めてIFN freeの経口剤のみ（DAA: Direct Acting Antivirals）での治療が開始され、これまでのC型肝炎に対する治療が大きく変貌しました。今まで、難治といわれた、1型高ウィルス量、高齢、女性、肝線維化が進展した方でも、90%以上、治療することができるようになりました。

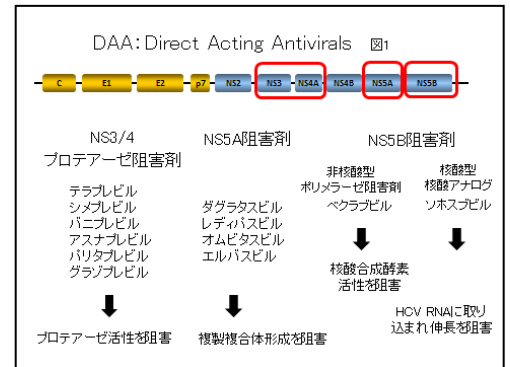
DAAには、プロテアーゼ活性を阻害するNS3/4プロテアーゼ阻害剤、複製複合体形成を阻害するNS5B阻害剤、NS5B領域で、核酸合成酵素活性を阻害する非核酸型ポリメラーゼ阻害剤、HCV RNAに取り込まれウィルスの伸長を阻害する核酸型核酸アナログがあります。（図1）しかし、初期のDAA治療は、最初からDAAに耐性を持っている人が存在し、このような人に、DAA治療を行うと、多剤耐性ウィルスを作ってしまうという問題点があり、今後の治療を見据えて治療待機を行う必要がありました。

現在、C型慢性肝炎、C型代償性肝硬変のほぼ全ての方に、12週間の治療で、95%以上の治療効果が期待できるようになりました。（図2）私の外来でも、2014年9月から、70歳以上が91人含まれ、肝臓治療歴を32人に有した198人の患者さんに対して、DAA治療を行ってきました。（図3）

その治療効果は、DAA再治療も含めて、全体で、96.1%と良好な抗ウィルス効果とC型肝炎治癒が得られました。（図4）

しかし、7例に再燃を認め、多剤耐性ウィルスとなっていました。また、現在治療できない、腎機能不良の2型の患者様も含めて、今後の新薬承認が期待されます。

多くの症例をご紹介いただき、治療を行うことができたのも、ひとえに先生方からのご紹介があったことで、厚く御礼申し上げます。徳島から、C型肝炎の患者様がいなくなるように、今後ともよろしくお願いいたします。

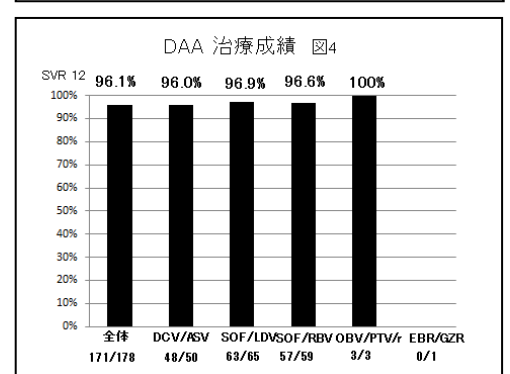


現在治療可能なDAA 図2

G 1	G 2	G 3/4/5/6
ダクレインザ/スンベブラ (DCV/ASV) 24w ハーボニー (SOF/LDV) 12w ヴィキラックス (OBV/PTV/r) 12w エレルサ/グラジナ (EBR/GZR) 12w ジメンジー (DCV/ASV/BEC) 12w	ソノバルディー/RBV (SOF) 12w ヴィキラックス/RBV (OBV/PTV/r) 16w	ソノバルディー/RBV (SOF) 24w

症例 図3

男性:89例 女性:109例 (198例)
年齢:19~85歳(平均66.3歳) 70歳以上 91例
HCV genotype 1b:132例 1b/3a:1例 2a:43例 2b:22例
HCV RNA:2.9~7.2Log (平均5.95Log)
HCC 治療歴 32例
肝硬変 44例
維持透析中 6例



E-ナース院内研修のお知らせ



① 『Dr 大島一太の心電図講座シリーズ 心電図レベルアップ! 中級編』

講師：東京医科大学八王子医療センター循環器内科兼任講師

日時：平成29年7月19日(水) 17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

② 『ケアの優先順位のエビデンス～状況判断力を高めよう』

講師：藤野 智子 氏 (聖マリアンナ医科大学病院 急性・重症患者看護専門看護師/集中ケア認定看護師)

日時：平成29年8月2日(水) 17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『糖尿病透析予防概論・症例検討』 担当：糖尿病代謝内科 白神敦久医師&看護師・管理栄養士

日時：平成29年7月14日(金) 18時00～20:00

場所：当院3階 講堂

② 『酸・塩基平衡について』 担当：集中ケア認定看護師 殿谷

日時：平成29年7月21日(金) 17時30分～18:30分

場所：当院3階 講堂

③ 『意識障害の看護』 担当：救急看護認定看護師 松本・長井

日時：平成29年7月28日(金) 17時45分～18:45分

場所：当院3階 講堂

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局次長 宮本

平成29年度 徳島県認知症疾患医療センター講演会

9月8日(金) 19:00～20:00 「これから期待される認知症医療とケア」

鳥取大学医学部 保健学科生体制御学講座・環境保健学分野 教授 浦上 克哉 氏

場所：当院3階 講堂

問い合わせ先：088-631-7151

徳島県立中央病院 事務局 岡田

平成29年度 自殺未遂者支援事業 支援者研修会

「連携体制構築のための自殺未遂者の理解と対応」

講師：横浜市立大学付属市民総合医療センター ソーシャルワーカー 山田 素朋子 先生

日時：平成29年8月24日(木) 19:30～21:00

場所：当院3階 講堂

事例を通して連携体制構築のための自殺未遂者の理解と対応について学び、未遂支援技術の向上を目指します。受講無料

*本研修は、「救命救急士の再教育に関する要領」に定める研修に該当します。

問い合わせ先：徳島県東部保健福祉局 徳島保健所 こころの健康担当 TEL:088-602-8905

《報告》

皆様のおかげをもちまして、

平成29年5月

初診紹介率 83.3%、逆紹介 165.4%

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL